

令和4年度の医療ツーリズム推進に係る取組状況について

1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

関係者間の連携促進を図りながら、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組について引き続き協議する。(今年度は本日開催)

2 海外PR事業

- 中国の上海で開催予定であった、「国際医療旅游展覧会」にブース出展し、愛知県の医療ツーリズム推進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により中国国内の展覧会の開催見通しが不明確であったことから、展覧会への出展を取り止め。
- 代わりに、愛知の医療ツーリズムをPRする動画を作成することとした。(令和5年3月に県医務課のウェブサイトに掲載予定)

<動画の概要>

(1) 目的

本県の認知度向上及びイメージアップを図ることにより、医療ツーリズムの受入先としての認識を広げ、将来的な外国人患者受入れ人数の増加に繋げる。

(2) 主な対象

医療ツーリズムの仲介を行っている旅行業者
国際医療コーディネーター事業者

(3) 内容

別添のとおり。【資料1-1】

3 ガイドラインの策定【資料1-2】

(あいちの医療ツーリズム～訪日外国人患者さんの受入れに向けて～発展編)

県内の医療機関が安心・安全に外国人患者に医療を提供できる環境を整えるため、医療ツーリズムの受け入れにあたってのガイドラインを策定し県内病院に配布することで、医療ツーリズム実施医療機関及び実施を考えている医療機関を支援する。

(1) 対象

医療ツーリズムに興味があるが実務面での不安から実施できていない小規模～中堅の医療機関及び訪日外国人の受入を行った経験がある医療機関に対してより実践的な内容を説明するもの

(2) 内容

入門編(令和3年度策定。【参考資料3】)を踏まえて、現場でどのように実施していくかといった実践的な内容を「発展編」として作成

(3) 配布方法

電子データ(PDF)にて県内医療機関に配布予定(令和5年3月を予定)

4 医療機関向けアンケートの実施【資料1-3】【資料1-4】

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、前回(昨年度)の調査以降の変化等を明らかにするため、「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を実施した。

(1) 調査日

令和4年5月17日から6月17日

(2) 対象

県内病院の一部(196病院)

(3) 回収率 64.8%(127病院から回答)

5 国家戦略特区による規制緩和に向けた動き【資料1-5】

(1) 背景・経緯

「あいち医療ツーリズム研究会」が取りまとめた「医療ツーリズム推進に向けた提言」をもとに、国家戦略特区における新たな規制の特例として、「医療ツーリズムの推進のための規制改革」を平成28年度に国に提案。

(2) 本県の提案内容及び対応状況

ア 早期治療が必要な場合の滞在期間の延長等【資料1-6】

短期滞在で在留している外国人のうち、「早期治療が必要な場合の滞在期間の延長等」の基準・手続を公表。(令和2年3月全国展開)

イ 日本で早期治療を要する外国人の医療滞在ビザ(査証)の迅速な発給【資料1-7】

日本で早期治療が必要と判断された外国人が再入国する場合、迅速なビザ発給処理が行われ、日本で治療を受けることができるようになった。(令和4年11月全国展開)